GP SPECIAL

順位は選出順位

2年連続頂点だ 峰

4位

3年連続6回目

初心は忘れない

平成最後の1億円バトルを制してから一年。新たなレススタイルを確立した峰が再び、2年連続の頂点を目指す。

「自信はつきました。でも勝ったからといって気持ちの変化はないですよ。勝ちたいと思って、勝てるんだったら、毎回そう思うんですけど。昨年とペースは同じです」

自らのパフォーマンスを最大限に発揮するには、〝楽しむ〟という初心を忘れない。SGを勝てず〝無冠の帝王〟と呼ばれ苦しんだ時期を経てたどり着いた境地だ。

その一方、戦法のバリエーションは増えた。枠なり進入だった昨年までとは違い、今年は前ヅケに動く場面も見られる。

「（昨年の）グランプリで菊地さんが動いてすごくスタンドが沸いたんです。そういう戦い方を応援する人もたくさんいるんだと。これまでは前ヅケは絶対にしないと思っていたけど、その時、意識が変わりました」

今年の主な優勝は1月の芦屋66周年と10月の若松67周年。予選をトップ通過した大村メモリアル準優では痛恨のフライング。結果、やったことはあまり振り返らないようにしているし、今やれることをやろうと思っています。

調整力、レース技量はもちろん、精神面の成長が通算勝率1位という偉業につながる。そんな〝一走入魂〟の姿勢は、オールスターファン投票3年連続1位という〝峰の時代〟証明持されている。

昨年のTR2nd最終戦では、〝伝説〟となった5コースからのまくり差しを決め、優勝戦1号艇を奪取。最後も重圧に打ち勝ち、逃げ切った。

そして迎えた2019年の年末決戦、令和も〝峰の時代〟ということを証明する。

◆峰竜太・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	5 2 4 3 6 1 [5] [1] 1
オールスター	福岡	1 3 1 1 1 3 3 [1] [3]
グランチャン	多摩川	1 2 1 4 3 6 [3] [4] 1
オーシャンC	とこなめ	5 4 2 2 3 2 [5] [1] 2
メモリアル	大村	1 4 1 2 1 4 F [3]
ダービー	児島	不出場
チャレンジC	桐生	

34歳　全国勝率8.55　S.T0.12

地元Vもぎ取る 石野

3位

6年連続7回目

夏場から急上昇

勢いそのままに頂点を極める。年末へ向け右肩上がりの石野が、悲願の〝天下取り〟に臨む。

「（SG優勝は）久しぶりなのでうれしいですね」

大村メモリアルで今年SG初優出（3着）すると児島ダービーでは準優勝。そして桐生チャレンジCでは2017年の鳴門グランチャン以来、7回目のSGV。1月の浦郡63周年のケガで序盤戦は大きく出遅れたが夏場以降に取り返し、賞金ランク3位で6年連続7回目のグランプリを決めた。

「夏の大村（メモリアル）からペラ調整がうまくいくようになりました。チャレンジカップもしっかり乗り込んで合わせられました。調整に関しては昨年よりはいいと思います」

上位6機大きい

9月の高松宮記念で自身2回目の住之江GI制覇。「正直、今でも住之江はしんどいです。でも優勝できたことは手探りながらもプラスにはなったと思う」。前哨戦を制して、心理面も含めたアドバンテージを得た。

昨年はTR1stで敗退。2010年の初出場から続いていた優勝戦出場が止まっただけに、「今年はエンジン差がいつも以上に大きいのを目の当たりにしているので上位6機を引けるのは大きい」とTR2ndスタートを素直に喜ぶ。

野中和夫（引退）、松井繁、田中信一郎、太田和美。最強・大阪支部のDNAを継承する男に課される唯一無二のノルマは〝優勝〟だけだ。

「自分に何か足りないからこれまで優勝できていないんでしょう。でももちろん優勝しか考えていません」

心技体、足りないものは何一つない。浪速のエースが、結果でそれを証明する。

◆石野貴之・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	不出場
オールスター	福岡	1 1 6 2 4 4 [6] [3] [6]
グランチャン	多摩川	2 4 5 6 2 6 4 2 4
オーシャンC	とこなめ	1 5 3 1 3 2 [4] [1] [2]
メモリアル	大村	1 2 6 3 3 1 [2] [3]
ダービー	児島	6 3 1 1 2 [1] [2]
チャレンジC	桐生	3 4 1 1 3 2 [1] [1]

37歳　全国勝率7.26　S.T0.16

順位は優出順位

柳沢

7位

初出場

初めて訪れたビッグチャンスを生かして初出場を決めた。柳沢は初のSG優勝戦絶好枠で迎えた多摩川グランチャンをコンマ01の速攻で戴冠。

「ようやく取ることができたと思ったけど、あくまでもステップ。目標といえば目標だったけど「ゴールではない」

その言葉通り、続くとこなめオーシャンCでも準優勝。地元ファンにSGレーサーとして進化した姿を披露した。

鬼門打破へ気合

住之江は優勝歴がなく通算勝率も全24場で最下位。「相性は一番悪いけどペラが合えばどこでも出るはず」。近況の充実ぶりからも〝鬼門〟打破の期待は十分に持てる。

「グランプリはすごく活躍している人がいる場所。自分がそこにいるというのは不思議な感じがします」。令和初のグランプリは自身初のグランプリ。大舞台で、力強く大きな一歩を踏み出す。

◆柳沢一・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	不出場
オールスター	福岡	不出場
グランチャン	多摩川	3 2 1 2 3 1 [1] [1]
オーシャンC	とこなめ	1 3 4 2 3 [2] [2]
メモリアル	大村	6 4 6 2 1 5 2 1 3
ダービー	児島	3 2 3 6 1 [5] [3] [1]
チャレンジC	桐生	6 4 3 F 3 4 2 5

38歳　全国勝率6.49　S.T0.14

井口

8位

4年連続9回目

やはりこの男には強気の姿勢が似合う。井口は直前の桐生チャレンジCで今年のSG初優出（2着）を果たす。

「はやる気持ちを抑えられず、質の悪いスタートになってしまった。これでは話にならない」

4カドから攻め切れずに石野の逃げを許した優勝戦後は反省の言葉が並んだ。それでも準優後には「調整から攻めていく」「スタートはぶち込む」と〝井口節〟が全開。多くのファンの期待に応えた。

輝き取り戻すぞ

4年連続9回目の出場と、年末の大一番には欠かせない存在。最近2年は優出2、4着と一歩届かず「メンタルが弱くなっているのかな。足りない部分が出た」と悔しがる。

今回はTR1stからの出場だが、本来の攻撃力が戻れば2008年に続く頂点も見えてくる。〝銀河系〟85期のエースが真の輝きを取り戻す。

◆井口佳典・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	3 3 2 2 3 3 [6] [3] [5]
オールスター	福岡	3 4 転 6 4 2 3 転
グランチャン	多摩川	4 1 4 5 5 5 2 2 5
オーシャンC	とこなめ	4 1 3 3 4 3 2 1 2
メモリアル	大村	6 6 5 3 5 3 3 4 5
ダービー	児島	2 3 6 4 3 1 [6] [1] [5]
チャレンジC	桐生	3 1 5 1 4 2 [2] [2]

42歳　全国勝率8.00　S.T0.15

太田

14位

2年連続11回目

誇りかけて戦う

誇りをかけた戦いだ。太田は11月の芦屋67周年でGI18回目のVを決め手に、グランプリ出場権を得た。

「調子はよくないよ。最近はずっとペラがバシッと合った状態でレースができていない」

現状を冷静に見極め、厳しい戦いを覚悟する。昨年のTR1st初戦がまさに象徴的だった。ターンマークに2度衝突。減点を取られて敗退。

「出ていないから余裕がない。ギリギリを回らないと勝負にならないからあいう風になった」

同支部や同期など情報交換が盛んだが、それとは一線を画す。「出している人、たとえば石野に聞けば解決するかもしれない」

そうしたらライバルじゃなくなる。答えを聞いてテストでええ点を取っても誰もすごいと思わんのと一緒。

和して同ず。最強支部のプライドを胸に、一番に向かう。

◆太田和美・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	2 4 5 5 1 5 1 3 6
オールスター	福岡	5 6 6 2 4 6 5 4
グランチャン	多摩川	6 2 1 1 1 [1] [3]
オーシャンC	とこなめ	6 1 3 1 3 2 [6] [1] [3]
メモリアル	大村	6 6 2 1 1 [4] [2] [2]
ダービー	児島	不出場
チャレンジC	桐生	6 5 4 1 5 6 1 5

46歳　全国勝率6.89　S.T0.15

菊地

13位

4年連続8回目

電光石火の攻め

今年も最終決戦へ。そして今年こそ、その先へ。菊地は2014年、16～18年とグランプリ出場最近4大会連続でファイナルまで駒を進めている。

「（グランプリ）優勝戦の良さを知ってしまった。あそこは選手のスキルが上がる場所。もちろん、そこは狙っていきます」

17年、18年とも6枠から前ヅケに動いてトップスタート。コース争いと持ち前の速攻力でファンを熱狂させた。

「昨年はリラックスムードで戦って、植木（通彦）さんからも『いい雰囲気だったよ』といわれた。だから今年もイレ込み過ぎないでゆったりと余裕を持っていきたい」

もう引き立て役で満足はできない。スリットもゴールも真っ先に駆け抜けるつもりだ。まずは4枠のTR1st初戦から電光石火の攻めを繰り出して流れを引き寄せる。

◆菊地孝平・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	3 3 2 1 3 6 [5] [6] [6]
オールスター	福岡	5 3 3 2 4 5 5 5 2
グランチャン	多摩川	6 5 4 2 4 転 5 4 3
オーシャンC	とこなめ	4 1 2 1 5 6 [5] [3] [5]
メモリアル	大村	4 1 1 4 5 2 [1] [2]
ダービー	児島	4 4 1 3 5 5 2 1
チャレンジC	桐生	不出場

41歳　全国勝率7.11　S.T0.11

徳増

12位

初出場

夢舞台突っ走る

瞠することはない。デビュー25年目で初のグランプリとなる徳増は「勝ち切れていないけど、要所要所でうまくしのけているとは思う」。

SGは戸田クラシック（6着）、多摩川グランチャン（4着）で優出。特別戦の優勝こそないが、年間通した高値安定の成績が光った。

昨年の苦い記憶が脳裏に焼き付いている。グランプリ勝負駆けだった10月の住之江高松宮記念。3着なら予選首位通過だったが4日目10R、最終マークで井口に逆転されて4着。結局優出5着に終わり、「優勝するのと優勝戦に乗ったでは全然違った」。賞金ランク25位で、18位の新田雄史とは約574万円差。優勝していれば、という額だ。

「秋口からは行くことが目標ではなく、取ることを目標にして走ってきた」

ようやく到達した夢舞台。初出場V、一気に突っ走る。

◆徳増秀樹・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	3 4 1 3 4 3 [2] [6]
オールスター	福岡	4 5 2 3 1 5 6 [2]
グランチャン	多摩川	3 2 3 6 2 1 [2] [4]
オーシャンC	とこなめ	3 3 4 6 5 1 5 1 2
メモリアル	大村	不出場
ダービー	児島	2 1 4 4 4 1 [3] [5] [6]
チャレンジC	桐生	1 1 4 4 5 4 [5] [1] [4]

45歳　全国勝率7.27　S.T0.13

田村

11位

5年ぶり6回目

上げ潮で大一番

宿願を果たし大舞台に返り咲いた。田村は10月の鳴門66周年を制覇。地元記念GVに「ファンのみなさんや関係者の方々に『よかった』と言ってもらえたのがうれしかった。〝うずしお軍団〟エースが面目を保った。11月には蒲郡64周年で今年2回目のGIV。桐生チャレンジCで優出6着、さらに新設PGI「BBCトーナメント」でも優勝。上げ潮で5年ぶりの大一番を迎える。

「自分の中では（来年の）鳴門のオーシャンカップに出るんだという思いが一番強い。あまりグランプリでこうというのはない」

16年オーシャンC、17年グランチャンと過去2回の地元SGに出られなかっただけに目標はあくまでも来夏。ただファイナル進出なら優先出場権をゲットでき、優勝すればこれ以上ないハクがつく。住之江は今年GIで2優出。期待は高まる。

◆田村隆信・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	1 2 3 5 2 3 [6] [2] [3]
オールスター	福岡	6帰郷
グランチャン	多摩川	5 2 2 5 1 1 [3] [2] [4]
オーシャンC	とこなめ	4 2 3 2 5 2 1 2 1
メモリアル	大村	3 3 2 1 5 6 6 2 6
ダービー	児島	1 2 1 2 2 5 [3] [4] [1]
チャレンジC	桐生	5 2 5 5 1 1 [2] [6]

41歳　全国勝率7.33　S.T0.15

白井

10位

4年連続7回目

勝ち切って証明

経過も大事だが、結果が全てだ。白井は賞金ランク10位で4年連続7回目の出場。近2年はTR2ndからの出場。今年は違うが「勝ち上がればいいだけ」と強気の姿勢を崩さない。戸田クラシック4着、福岡オールスター2着とSG連続優出。その間の大村周年で11回目のGIV。多摩川以降、特別戦線から離脱したが、序盤の〝貯金〟が効いた。

近年は常にビッグ戦線のV候補に名を連ねる。ただSG25優出でV2は「少な過ぎる」と本人も認める通り、取りこぼしも多い。それだけに「は〝勝ち切る〟を強く意識している。これまでやってきたことは間違っていないと思うし、頂点に立ってそれを証明したい。今年最後のレース、グランプリを勝ち切りたい。脂が乗り切る43歳が、悲願の王座に就く。

◆白井英治・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	1 2 2 2 1 4 [2] [4]
オールスター	福岡	1 1 4 2 4 2 [2] [2]
グランチャン	多摩川	2 2 3 3 1 3 F [2]
オーシャンC	とこなめ	不出場
メモリアル	大村	不出場
ダービー	児島	不出場
チャレンジC	桐生	不出場

43歳　全国勝率8.48　S.T0.14

馬場

9位

2年連続2回目

重圧力に成長!!

フロックではないことを証明した。昨年チャレンジCのSG初優出V逆転グランプリ初出場を果たした馬場が、今年も一つ出るという目標はクリアできました」

GIを飛び越えていきなりのSGタイトルをゲットして迎えた2019年。真価が問われる中、SGを皆勤し、戸田クラシック準優勝と児島ダービー3着。一般戦では格の違いを見せつけて、V7をマークした。

「自信になっているし、成長の糧にもできていると思います」

SGレーサーとしてのプレッシャーを見事に力に変えた。「夏場よりペラの調子もよくなっています」というなら、TR2ndまで勝ち上がった昨年以上の活躍が期待できそうだ。

大一番に名を連ねた。「たまたまと思われるのも嫌ですからね。SG、GIを勝ってというのも気持ちもあったけど、も

◆馬場貴也・今年のSG成績◆

レース名	開催場	節間成績
クラシック	戸田	5 1 3 2 4 3 1 [2]
オールスター	福岡	6 4 5 4 5 3 2 2
グランチャン	多摩川	1 3 3 4 6 5 1 1 6
オーシャンC	とこなめ	1 6 3 3 5 1 6 6 4
メモリアル	大村	3 4 2 1 3 5 1 1 4
ダービー	児島	3 1 2 2 4 2 1 [3]
チャレンジC	桐生	5 4 1 2 4 3 3 3 5

35歳　全国勝率8.05　S.T0.16